

「B 衣食住の生活」 日比崎防衛隊 被災地の食を支えよう！ ～ 被災地に本当に必要な非常食とは？ ～

本題材で育成する資質・能力

(教科) 生活の自立に必要な食についての理解 (学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 令和3年9月21日 14:00～14:50
- 2 学年 第1学年2組 (男子18名 女子17名 合計35名)
- 3 場所 新館1F 1年2組教室
- 4 単元について

○ 題材観

本題材は、中学校学習指導要領技術家庭家庭分野の内容「B 衣食住の生活」の、(3) 日常食の調理と地域の食文化 「ア (ア) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。」を取り扱うように設定している。

本題材は、日常多く用いられている食品の品質や見た目、表示などから食品の品質を見分けることができるとともに、目的や栄養、調理の手間などを考慮して、用途に応じた食品の選択ができるようになることをねらいとしている。

生徒の食生活を取り巻く環境は、近年大きく変化しており、食品加工技術や食品管理の進歩により、生徒の身の回りは、様々な食品があふれ、食品についての情報も多量になっている。それらの情報を正確に読み取り、自分の目的にあった商品を選択していく力を身につけ、よりよい食生活の実現につなげることが重要と考え、この題材を設定した。

○ 生徒観

本学級の生徒に、食品についてのアンケートを実施した。(令和3年9月)

質問項目	肯定的評価
・食品を購入することがあるか。	88.3%
・家庭で食べている食品がどのような基準で選ばれているか知っている。	65.7%

食品を購入するときの基準 (複数回答可)		
1	値段	85.7%
2	見た目	82.9%
3	味	62.9%
4	鮮度	57.1%
5	季節感	28.6%
6	カロリー	20.0%
7	生産地	17.1%
8	食品添加物	14.3%

本学級の生徒のうち約90%が食品を購入することがあると回答した。しかし、家庭で食べる食品を購入するときの選ぶ基準について知っているという生徒は約65%に留まった。また、生徒自身が食品を購入するときの基準については、値段や見た目を重視している生徒が多く、生産地や食品添加物などを基準にしている生徒は20%未満と少なかった。この調査から、食品を購入する機会はあるものの食品を選択するために必要な情報を活用できていないことが分かった。食品を選択するときに活用すべき情報の読み取り方や、活用に仕方について取り扱う必要性を感じた。

○ 指導観

指導に当たっては、食品の表示から、食品の情報を読み取り、その情報をもとに食品を選択する力を身につけさせたい。その際に、目的、量、栄養、価格、保存や調理の方法などについても考え、自分で判断して選択しようとする態度を育てたい。

本時では、本校の総合的な学習で取り扱っている防災教育と絡め、生徒たちの主体性を引き出す課題を設定した。被災地の状況にあった食品を届けるという活動を通して、食品の表示を読み取り、目的に応じた食品を選択することができ、また表示の重要性を感じさせるために、以下のことに注意して指導したい。

- ① 課題を提示する際に実際あったニュースの映像を見て、現実味を持たせる。
- ② 食品の実物や写真を用意し、本物の表示を見て食品を選択させる。
- ③ グループや全体での意見交流の時間を設け、様々な考えに触れさせる。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	表現力・コミュニケーション能力			主体性	
レベル1	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	（話す speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		（話す tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		（話す talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル4		自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 題材目標

○ 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。

【新学習指導要領B(3)ア(ア)】

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日常生活と関連付け、生鮮食品・加工食品の特徴や用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。	・食品の選択について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の工夫し創造し、実践しようとしている。

8 指導計画（全5時間）

	次	学習内容（時数）	観 点			評 価	
			知 技	思 判 表	主 体 的	評価規準	資質・能力 （評価方法）
課題 の 設 定	1	食品の種類 (1時間)	○			・日常生活と関連付け、食品の種類について理解する。	【主体性】（観察）
本質的な問い 生活を豊かにする食品の選択とは？ 単元を貫く問い（探究課題の萌芽） 被災地に本当に必要な非常食とはなんだろう？							
情報 集 集	整理・ 分 析	2	生鮮食品の特徴 (1時間)	○		・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。	【生活の自立に必要な食 についての理解】 (行動観察、ふりかえり、 ペーパーテスト)
		3	加工食品の特徴 (1時間)	○		・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。	【生活の自立に必要な食 についての理解】 (行動観察、ふりかえり、 ペーパーテスト)
		4	食品の表示 (1時間)	○		・日常生活と関連付け、表示から食品の情報を読み取ることができる。	【生活の自立に必要な食 についての理解】 (行動観察、ふりかえり、 ペーパーテスト)
		5	食品の保存と食中 毒の防止 (1時間)	○		・食品の安全と衛生に留意した管理について理解していると共に、適切にできる。	【生活の自立に必要な食 についての理解】 (行動観察、ふりかえ り、ペーパーテスト)
まとめ・ 創 造 ・ 表 現	実行・ 振 り 返 り	6	食品の選択 ～日比崎防衛隊 被災地の食を支え よう！～ 【本時 1/1】 (1時間)		○	・食品の選択について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の工夫し創造し、実践しようとしている。	【生活の自立に必 要な食についての 理解】 (ワークシート・ふ りかえり・ペーパ ーテスト) 【表現力、コミュ ニケーション能力】 (行動観察・ふりか えり)
単元を貫く問いの終結 被災地の状況に応じて、必要な非常食が異なる。状況を見極めて、それにあった非常食を選ぶためには食品の表示や調理方法などを踏まえて食品を選択するべきである。							

9 本時の展開

1) 本時の目標

○3つの被災地に非常食を届ける活動を通して、目的や用途に応じた食品の選択ができる判断力を育成する。

(2) 本時の評価規準

・食品の選択について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

(思考・判断・表現)

・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の工夫し創造し、実践しようとしている。

(主体的に学びに取り組む態度)

(3) 準備物

・クロムブック ・モニター ・加工食品の表示 (3種) ・ミニホワイトボード ・ワークシート

(4) 学習の流れ (5 時間目 / 全 5 時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
1 本時の学習課題を設定する。[5分]		
<div data-bbox="55 340 119 407" style="border: 1px solid red; padding: 2px;">導入の工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題を知る。 <div data-bbox="236 555 1364 698" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">日比崎防衛隊 被災地の食を支えよう！ ～被災地に本当に必要な非常食とは何だろう？～</p> </div>	<p>◇日本の災害が起こりやすい地域についての資料から尾道では災害が少ないことに気づかせ、被災地を助ける側としてどのような支援ができるか考えさせる。</p>	
2 本時のねらいを確認する。[2分]		
<div data-bbox="55 548 119 616" style="border: 1px solid red; padding: 2px;">単元を貫く問い</div>	<div data-bbox="236 788 1364 884" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ねらい</p> <p style="text-align: center;">目的や用途に応じた食品を選択できる。</p> </div>	
3 既習事項を確認する。[3分]		
<ul style="list-style-type: none"> 生鮮食品と加工食品の特徴を振り返る。 	<p>◇既習事項を確認させる。</p> <p>◆生徒の解答を確認し、実態把握をしておく。</p>	
4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[17分]		
<div data-bbox="55 1377 119 1444" style="border: 1px solid red; padding: 2px;">思考を深める学び合い</div> <div data-bbox="55 1456 119 1523" style="border: 1px solid red; padding: 2px;">ICTの活用</div> <div data-bbox="55 1624 119 1691" style="border: 1px solid red; padding: 2px;">小グループの活用</div> <ul style="list-style-type: none"> 個人で情報を整理する。 グループで交流し、全体で確認する。 グループで考えをまとめる。 	<p>◇生鮮食品と加工食品の特徴から支援物資に適しているのはどちらかを考えさせ、被災地に生鮮食品が支援物資として送られて負担になったニュースから加工食品が適していることを確認する。</p> <p>◇加工食品 3 種類についてそれぞれのメリット・デメリットを個人で考え、Jam ボードを使ってグループごとで意見をまとめさせる。</p> <p>◆加工食品の実物を用意し、その表示などをもとに考えさせる。</p> <p>◇3 つの条件の下に、それぞれの食品のメリット・デメリットを見て、被災地に送るのにふさわしいと思う食品を 1 つ選び、同じ食品を選んだ人の中で 3～4 人のグループを作って、ホワイトボードに意見をまとめる。</p> <p>◆教科書や今までのワークシートなどをもとに考えさせる。</p>	<p>★生活の自立に必要な食についての理解【ワークシート】</p> <p>★思考力・判断力・表現力【行動観察】</p>

<p>予測される生徒の考え</p> <p>A評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスや水が復旧していない被災地では、調理をしたり、お湯を沸かしたりすることができないので、調理をせずに食べられる食品が望ましい。 ・調理済み食品は消費期限が短いので、食べる人が明確なときには望ましいが、大きな物資搬入施設に送ると消費期限が切れてしまう。 <p>B評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常食として一般的ななので缶詰がいい。 		
<p>5 課題解決について発表し、吟味する。[10分]</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇質疑応答の時間をとり、各グループの意見について理解を深めさせる。必要に応じて補足する。 ◆教科書や本時までのワークシートなどを参考にさせる。 	<p>★思考力・判断力・表現力【行動観察】</p>
<p>6 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ・振り返りを書く。 	<p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて非常食を選ぶことで、本当に被災地で必要とされる食品を送ることができると分かった。食品を選択するときには、表示から食品の情報を知ることができると分かったのだからこの生活でも、食品を買うときには表示を見て、目的に合った食品が選択できるようにしたい。 	<p>★生活の自立に必要な食についての理解</p> <p>★表現力【ふりかえり】</p>

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	食品を選択するときは、食品の表示から情報を読み取ることが大切で、その情報をもとに目的や用途に応じた食品を選択することが分かった。普段の生活でも表示を見て食品を選択するようにしたい。
B（合格）	食品を選択するときは、食品の表示を見ると様々な情報を読み取ることができ、食品の選択ではその情報を活用して、用途に応じた食品を選択することができると分かった。
C（乗り越えさせたい実態）	食品を選択するときは、よく考えて考えないといけなかったことが分かった。

(5) 板書計画

題材名 衣食住の生活 **ねらい** 目的や用途に応じた食品を選択できる。

学習課題 日比崎防衛隊 被災地の食を支えよう！～被災地に本当に必要な非常食とは何だろう？～

生鮮食品

生鮮食品
の特徴

被災地 A
の条件

ホワイト
ボード

被災地 B
の条件

ホワイト
ボード

被災地 C
の条件

ホワイト
ボード

加工食品

加工食品
の特徴

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード